

長く飲み続けていただくために

■ジェネリック医薬品って何？

お薬には、新規に開発・発売された「新薬」と、新薬の特許が切れてから発売された「ジェネリック（後発）医薬品」とがあります。

■新薬とどう違うの？

ジェネリック医薬品は、研究開発などにかかるコストがおさえられていることから、国が薬価を新薬の約2～6割*に設定しています。

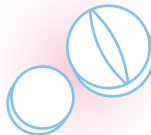
※同じ成分のジェネリック医薬品で薬価が異なる場合もあります

■どんなメリットがあるの？

長くお薬を飲み続ける疾患の場合、低価格のジェネリック医薬品を選ぶことで、新薬を選んだ場合に比べ自己負担は軽くなります。

ジェネリック医薬品は、新薬と有効性・安全性が同等と確認されています。

また、お薬の形、大きさ、味などを患者様が飲みやすいように改良されているものもあります。



クロピドグレル錠「EE」は、
お薬代の負担が軽減されるジェネリック医薬品です。

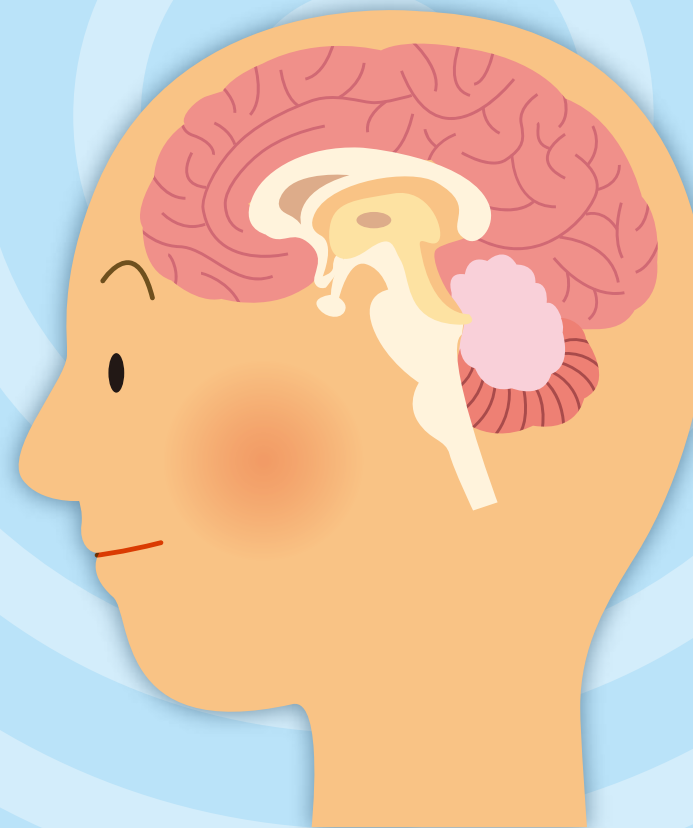
医療機関名

クロピドグレル錠「EE」 を服用される みなさまへ

【監修】

埼玉医科大学国際医療センター 神経内科 教授

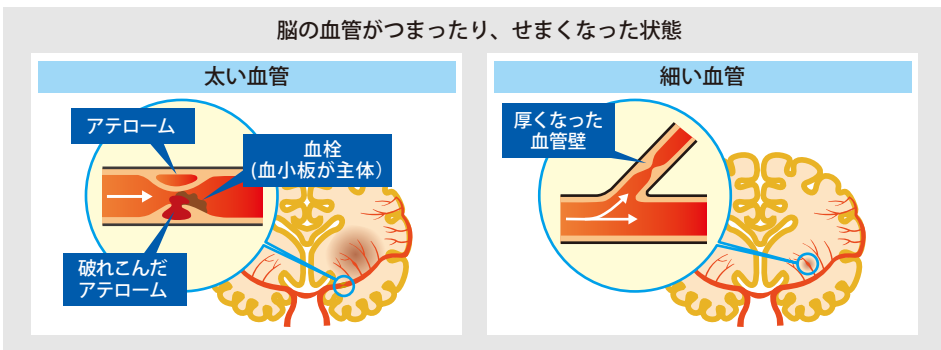
棚橋 紀夫 先生



脳梗塞の再発を防止しましょう

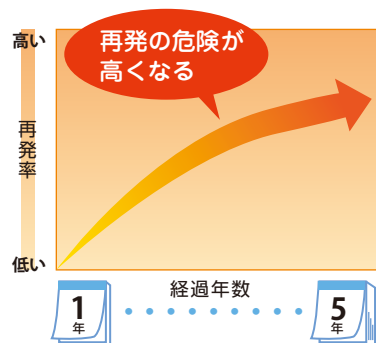
脳梗塞ってどんな病気？

脳の血管が詰ったり、せまくなったりして血流が悪くなり、脳に酸素や栄養が送られなくなることで、脳細胞が障害をうける病気です。



再発するとどうなるの？

脳梗塞は、はじめの5年で約4割の患者さんが再発するという研究データがあります。一度再発すると再発をくりかえしやすくなるとのデータもありますので、しっかり治療に取り組むことが重要です。



どうやって再発を防ぐの？

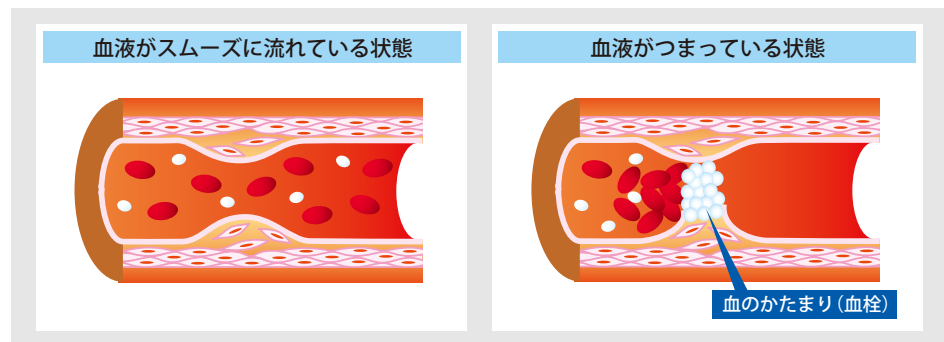
お薬による治療を中心に、しっかりとした再発防止策を講じることが重要となります。再発防止には、血管の中で血栓ができるのを防ぎ、血液の流れをスムーズにする抗血小板薬を服用します。クロピドグレル錠「EE」は、抗血小板薬のひとつです。



クロピドグレル錠「EE」について

いったん脳梗塞を起こした患者さんの血液は、血栓（血のかたまり）ができやすい状態となっています。

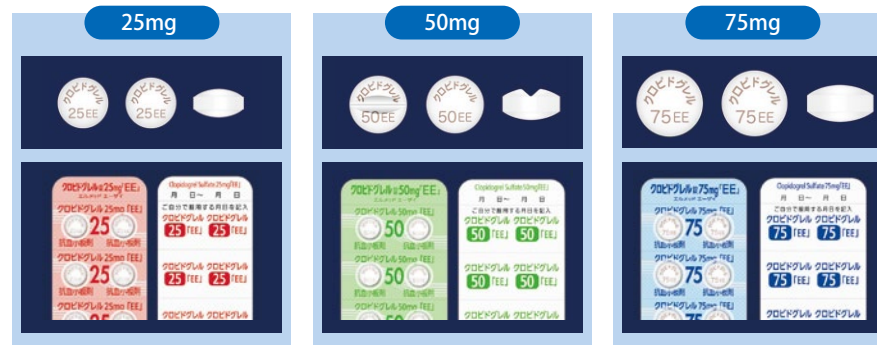
クロピドグレル錠「EE」は、この状態を正常化して血液の流れをスムーズにすることで、あらたに血栓ができるのを防ぎ、脳梗塞の再発をおさえてくれるお薬です。



脳梗塞は再発しやすい病気といわれますが、きちんとお薬を飲み続けることで、再発を防止することが可能です。

● クロピドグレル錠「EE」について ●

クロピドグレル錠「EE」は、25mg錠、50mg錠、75mg錠の3つの規格があります。色・剤形は、白色～微黄白色のフィルムコーティング錠です。



服用中、守っていただきたいことがあります

決められた通りの服用を

血栓ができるのを防ぐためにも、このお薬は毎日飲み続けることが大切です*。自己判断で飲む回数を減らしたり中止したりすると、再発のおそれがあります。医師から指示された通り、きちんとお薬を飲みましょう。

※なるべく空腹時はさけてください



飲み忘れに要注意

飲み忘れに気づいたら、すぐに1回分を飲んでください。次の服用時間が近ければ1回分をとばし、次からまた時間通りに飲んでください*。

※2回分を一度に飲んではいけません



飲み始めはこまめな受診を

まれに肝障害や血液障害などの重い副作用がおきることがあります。とくに飲み始めの2ヵ月間は、定期的に医師の診察を受け、肝機能や血液の検査など、医師の指示に従ってください。



他の治療を受ける時は、医師に相談

抜歯や手術をするとき、このお薬を飲んでいると、その影響で血が止まりにくくなる場合があります。また、他のお薬が、クロピドグレル錠「EE」のはたらきに影響をおよぼす場合もあります。

他の病院・診療科を受診するときは、かならずこのお薬を飲んでいることを医師や歯科医師につたえてください。



服用中、守っていただきたいことがあります

体調の変化に注意

このお薬を飲んでいつもと違う以下のような症状があらわれたら、すぐに医師・薬剤師に連絡し、指示に従ってください。ご家族にも気をつけて見ていただくようにすると良いでしょう。



・鼻や歯ぐきから出血する



・白目や皮膚が黄色くなる
・紫色や赤色のあざができる、
ブツブツや赤みができる



・尿が茶色っぽくなる、
尿に血がまじる
・黒い便ができる



・風邪のような症状（発熱、
寒気、のどの痛み）ができる



・つよい疲労感、食欲低下がある
・意識がもうろうとする

生活習慣の改善を

脳梗塞の発症には、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が大きくかかわっています。医師と相談しながら、禁煙をはじめ、食事や運動などの生活習慣を見なおしましょう。

- ・高血圧、糖尿病、脂質異常症、心臓病などがある場合には、適切な治療を行う
- ・定期的に健康診断を受け、血圧、コレステロール、中性脂肪、血糖などをチェックする



・肥満の解消を心がける



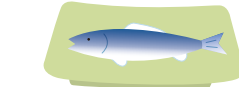
・塩分・脂肪を控え、食べ過ぎないようにする



- ・お酒を飲み過ぎない
- ・たばこを吸わない



・青魚、野菜、くだものを積極的に食べる



・水分を十分に
とる



- ・適度な運動をする
- ・ストレスや疲労をためない



・入浴はぬるめのお湯で
短い時間にする